

松嶋夜話 卷之下 24

〔原文〕有客觀僧經行草堂中土地祖師像前念佛問曰

〔訓読〕客有り、僧の草堂の土地の租師の像の前に經行し佛を念じるを觀て、問ひて曰く

〔原文〕何心行矣余曰

〔訓読〕何の心行うと、余曰く

〔原文〕讀大無量壽經

〔訓読〕大無量壽經を讀むに

〔原文〕佛告彌勒於此世界有七百二十億不退菩薩

〔訓読〕佛彌勒に告げ、此の世界に於いて七百二十億の不退の菩薩有り

〔原文〕往生極樂國土

〔訓読〕極樂國土に往生す

〔原文〕諸小行菩薩不可稱計皆得往生

〔訓読〕諸の小行の菩薩、稱して計すべからず、皆往生を得

〔原文〕又不但我國乃至十方世界無量大菩薩衆盡念阿彌陀佛

〔訓読〕又但だ我國乃至十方世界の無量大菩薩衆も盡く阿彌陀佛を念ず

〔原文〕願生阿彌陀佛國土

〔訓読〕阿彌陀佛の國土に生じんことを願う

〔原文〕由此觀則十方諸大菩薩盡念阿彌陀

〔訓読〕此に由りて觀れば、則ち十方の諸の大菩薩盡く阿彌陀を念ず

〔原文〕而矧乎於西天下諸天神又於歷代諸祖師

〔訓読〕而も矧(いはん)や、西天下の諸天神に於いておや、又た歷代の諸祖師に於いてや

〔原文〕何不可忍之

〔訓読〕何れか之を忍ぶべからず

〔原文〕然則僧念佛迴願

〔訓読〕然らば則ち僧念佛迴願して

〔原文〕且天台大師觀心誦經法觀座下皆有天龍八部四衆圍繞聽法

〔訓読〕且つ天台の大師の觀心誦經法に、座下に皆天龍八部四衆有りて、圍繞し法を聽く有り

〔原文〕又云觀我能爲法師傳佛正教爲四衆說

〔訓読〕又云う、我れ能く法師と爲り、佛の正教を傳へ、四衆の爲に説くを觀る

〔原文〕想所出聲非但此一衆

〔訓読〕想うに、出る所の聲、但だ此の一衆のみに非ず

〔原文〕乃至十方皆得聽受

〔訓読〕乃至十方皆聽受することを得んや

〔原文〕矧乎揚此大聖號護法諸神何不聽受之

〔訓読〕矧（いはん）や、此の大聖の號を揚るに、護法の諸神、何れが之を聽受せず